

車椅子整備のフロになろう！！ 車いす安全整備士養成講座のご紹介

車いす安全整備士養成講座とは？

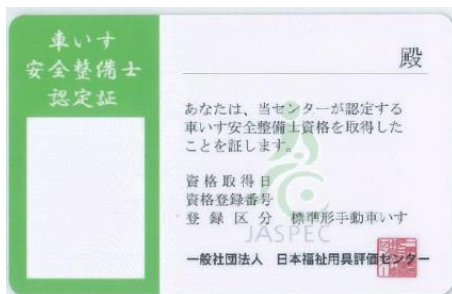
「安全な車椅子を安心して使用できる社会実現」に貢献することを目的として車椅子の工学的内容を中心とした講座を行っています。
座学講義・実技講義から構成され、資格取得のための試験もございます。
(車いす安全整備士は民間資格です)



車いす安全整備士資格って？

現在、車椅子には自動車のような車検制度はなく、法的には無資格であっても整備が可能な状況です。しかし、無資格の方が整備すると、思わぬところで事故に繋がるような整備をしている可能性がございます。他の工業製品に関する資格を持っていても、車椅子自体の知識がなければ同じです。

車いす安全整備士養成講座は、実行委員会形式をとっています。実行委員会には、国内の主要車椅子製造メーカーや、販売・レンタル・輸入を行っている事業者等、車椅子に関するプロが集まり、講義内容を作成しておりますので、日本で唯一の車椅子整備に関する資格であると言えます。



合格時には認定証及び認定カードと発行しています。
また、皆様が資格取得をアピールしやすいよう、右にあるのぼりやステッカーも資格取得者限定で販売しております。

裏面に
続く

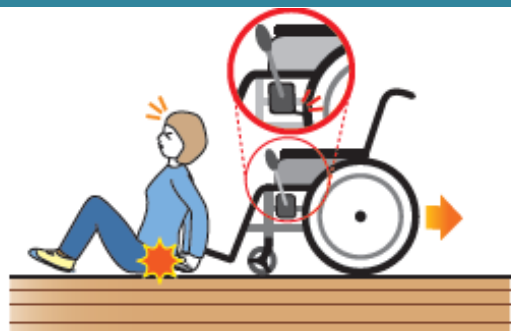
どんな講義内容？

「車椅子の規格」「車椅子の機能」「車椅子メンテナンスの基礎知識と整備概論」の3講の座学と実技で構成され、基礎的な知識を身につけていただきます。

実技では車椅子を全て分解した後、組立てを行い、車椅子の基本的な構造を理解していただきます。その後、皆様が実際に業務として行われる「車椅子の点検・調整」を、安全な車椅子になるために必要な点検項目に従って行います。

一部簡単にはございますが、車椅子の事故事例と、事故を起こさないために実技で行っている点検・整備の内容をご紹介します。

事故事例



車椅子に座ろうとした際、駐車用ブレーキが効かず、転落した(圧迫骨折など、重大事故に繋がる危険性有)。

事故を起こさないための点検・整備

タイヤの空気圧チェック

↓
駐車用ブレーキの効きの確認

↓
効きが不足していた場合、効き調整

↓
再度駐車用ブレーキの効きの確認※



※効きの確認方法は左のような事故を想定し、座った状態から立ち上がり動作を行い、そのまま車椅子に体重を掛け、後に逃げないかを確認します。

どんな方が受講してるの？

車椅子の流通に直接かかわる業務をされている方々をはじめ、福祉用具専門相談員や、福祉施設や病院の備品担当の方々などが主に受講されます。

最近では自転車屋さんや車椅子メンテナンスのボランティアをしている方など、実際に車椅子の整備を新たな職業とするために取得されにくる方々もいらっしゃいます。

また、職業だけではなく、身近な方に車椅子ユーザーが居て、その方のために整備方法を学びに来られる方もいます(受験資格は特に設けておりません)。

車いす安全整備士養成講座を受講したい！！

JASPECのHPをご覧のうえ、以下のお問合せ先までお問合せください。
メールでもお電話でもどちらでもご対応させていただきます。

お問い合わせ先



一般社団法人 日本福祉用具評価センター (JASPEC)

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-5

TEL 078-306-0556 FAX 078-303-0506

E-Mail: info@jaspec.jp

URL <http://www.jaspec.jp> (右記QRコードからアクセス)

